



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ会報

第45号

例会日/2015年6月18日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル「辰巳屋」8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

ガバナー補佐スピーチ

県北第一分区分ガバナー補佐 久米 允彦 様

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘 丹治正博 会長
ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 茂田士郎 会員
「四つのテスト」唱和 菅沼 裕 会員
お客様並びに来訪ロータリアン紹介
●血圧測定 明治病院看護師 盛山優子 様
表彰伝達
会長挨拶 丹治正博 会長
食事
幹事報告 坪井大雄 幹事
各委員会報告

- プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 松浦敬裕 委員
- 次期プログラム・ニコニコBOX小委員会
7月プログラムのご案内 佐藤武彦 委員

◎本日のプログラム

開会点鐘 丹治正博 会長



江戸しぐさは普遍

「江戸しぐさ」の「しぐさ」は「思草」と書きます。「思」は思案、思慮、思考の思です。「草」は草花の草ではなく、行為、行動、実行の「行ない」を意味し、行動を伴うものです。その人のこころがそのま

ま形となって表に出るものが「思草」なのです。現代のように高度に発達したIT社会に古めかしい江戸しぐさでもあるまい、と言う人もいられるかもしれませんが、時代が変わり、ライフスタイルが大きく変わっても、人のこころの温もりが大切なことに変わりはありません。「江戸しぐさ」の中に「往来しぐさ」といわれる身のこなしがあります。「傘かしげ」「雨や雪の日に道ですれ違ふとき、お互いに傘を外に向けて傘がかからない配慮をする」とです。「肩引き」「腕引き」狭い道を行き交うときは、お互いが右肩や右腕を後ろに引いて胸と胸を合わせるように譲り合う配慮。「こぶし腰浮かせ」乗合舟で後から乗ってきた客人に先客たちが、こぶし分、腰を浮かせて詰め合わせる配慮です。

本日は、県北第一分区分久米允彦ガバナー補佐の本年度第四回目のクラブ訪問でございます。久米ガバナー補佐には、この一年間クラブの運営につきまして有意義なご指導を賜りました。福島ロータリークラブ会員一同を代表致しまして心より御礼を申し上げます。本日は後ほどスピーチを頂くことになっておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

こうしたことは、指示されなくても自発的に瞬時に出来なければいけない基本で、江戸の町民たちの考え方は、さほど役に立たない知識の量や言葉より、実行する振る舞いのほうがすぐに役に立つ実学だと考えていたのです。ここで皆さんに問題を出します。「江戸しぐさ」の「うかつあやまり」とは？答えは自分のうかつ（不注意、うっかり）で人に迷惑をかけた「ごめんない」と謝ることですが、もう一つ、例えば混んだ電車の中で人の足を踏んでしまった「すみません」と謝るのは当然ですが、踏まれた人もまた「あ、とっさに足を避けられなかった私もうかつでした。すみません」と、口に出さなくても、とっさにしぐさでその場によい空気を作る大人の態度をいいます。こうした「江戸しぐさ」を幼い頃から皆が身につけて、さりげなく行うことが出来れば、私たちの社会はもっと穏やかで、和やかな社会になると思うのですが、皆さんいかがでしょうか。

私は最近、とても気になっていることがあります。それは戸の出入りに関するマナーです。銀行で用事を済ませて自動ドアから出ようとする時、外から入ってこようとする人がいるとします。皆さんはどうしますか。近頃は出ようとする私を押しつけるようにして無理矢理に入ってくる人が多いように感じます。中には、私が出るまで立ち止まって、出たのを確認して入る人がいます。そんな人には、私はいつも軽く会釈して感謝の気持ちを表します。「出る人を優先させる」これは、どんな扉でも基本的なマナーです。電車に乗るとき、エレベーターに乗るときなど、出て来る人がいたら、先に出してあげる。我先にと乗ると、マナーのない人と思われるだけでなく、混雑のもとになり、皆の迷惑になることは言うまでもありません。

世界が驚く日本人のマナーの元
皆さんは東京・渋谷のスクランブル交差点に行かれたことがありますか、世界一忙しい交差点とも言われ、多い時で一度に三千人以上、一日に三十万〜五十万人の人が行き交うとのこと。膨大な数の歩行者が一斉に道路をぶつかりもせず、自然と横断する光景に、外国人は驚嘆するそうです。しかし、私たちには特別驚くに値することはありません。それはなぜか、東京は江戸時代も世界一の過密都市でありました。そんな過密都市で人々が快適に暮らすための秘訣が、実は江戸時代から受け継がれてきたのです。それは「江戸しぐさ」と呼ばれるものでした。誰だって物心ついたときから、上の人に「人を殺してはいけない」「盗んではいけない」「嘘をついてはいけない」「ことは教えられているはずで、さらに「人に迷惑をかけてはいけない」「挨拶をしない」「お行儀良く」「物を粗末にしない」「約束を守れない」という注意もされているでしょう。ところが、最近、自分さえ良ければいいというひたすら自分の考えを押しつけて、他人への配慮が足りない人が多くなったように思えます。私たちは、生まれてから知らぬ間に身体に染みこんでいる「躰」の数々が生かされずに眠ったままになっていくのです。その眠ったままになっているものが「江戸しぐさ」なのです。「江戸しぐさ」は「一人にして気持ちいい、してもらって気持ちいい、はたの目に気持ちいい」もので、多くの人がみな気持ちよく笑顔で暮らせる社会環境をつくるための基盤となるのです。

草」なのです。現代のように高度に発達したIT社会に古めかしい江戸しぐさでもあるまい、と言う人もいられるかもしれませんが、時代が変わり、ライフスタイルが大きく変わっても、人のこころの温もりが大切なことに変わりはありません。「江戸しぐさ」の中に「往来しぐさ」といわれる身のこなしがあります。「傘かしげ」「雨や雪の日に道ですれ違ふとき、お互いに傘を外に向けて傘がかからない配慮をする」とです。「肩引き」「腕引き」狭い道を行き交うときは、お互いが右肩や右腕を後ろに引いて胸と胸を合わせるように譲り合う配慮。「こぶし腰浮かせ」乗合舟で後から乗ってきた客人に先客たちが、こぶし分、腰を浮かせて詰め合わせる配慮です。

ガバナー補佐スピーチ

RI第2530地区県北第一分区ガバナー補佐

久米 允彦 様



本年度最後の クラブ訪問にあたり

この一年間を振り返りますと、いろいろな思いが交錯致しております。第一分区7クラブにはそれぞれ特性があります。野崎ガバナーが提唱された今年度の目標は7つございました。

- (1) クラブ基盤の強化 会員増強
- (2) ロータリー情報の共有と強化
- (3) 効果的ロータリークラブ実現の方策
- (4) ロータリーイメージと認知度の向上
- (5) 青少年養成に期待をこめて積極的サポート
- (6) ロータリー財団プログラムへの参加と資金協力
- (7) 米山奨学会への協力 以上の7つです。

私の一番の職務はガバナーの意図を各クラブにお伝えすることと承知しておりますが、各クラブにおかれては、ガバナーの意を体して頂き、我が第一分区はお蔭をもってガバナー目標をすべて達成致しました。ガバナー補佐をやって分かったことですが、地区で決めて、分区で必ずやらなければならない行事、例えばIM、新会員セミナーがあります。新会員セミナーは入会3年未満の会員が対象ですが、私見で申せば、ロータリーでは体系的に決められたカリキュラムがないために、生半可に覚えてしまうこともあるため、10年未満の会員を対象にすべきとも思います。IMですが、その良さは結論を導き出さないことにあり、親睦半分のところもあります。

分区には温度差があり、義務開催にも拘わらずやらなかったり、また新会員セミナーとIMを抱き合わせて開催するなど、本来の趣旨から逸脱したケースが見受けられます。幸い我が第一分区はその趣旨を達えることなくやっていたいております。こうした行事は分区内7クラブにそれぞれ主管して頂き、各クラブの会長さん、幹事さんにはリーダーシップを発揮して頂いております。第一分区は行事を非常に真面目にやる分区です。よく言

えば不言実行、悪く言えば、やや大人しすぎる嫌いがあるように思います。私は、県北第一分区は2530地区にあつてフラッグリーダー、まさに指標とすべき分区であると自負しております。そういう意味で私としては非常にやりやすかったと感じております。

福島クラブにはご交誼を頂いている方々が大勢いらっしゃいます。福島クラブの特徴として転勤族の会員が多いことがあげられますが、短い期間ですが、福島での思い出を忘れないで頂きたいとの思いで、在京OB会員と交流を続けておられる、これは福島クラブの例会が楽しく、意義深い例会であったことの証左であると思います。そうした意味で福島クラブには見習うべきことが多いと思っております。ロータリーは単年度で役員が交替しますが、福島クラブの良き伝統の片鱗が各クラブに継承されていることを嬉しく思う次第です。

先日、年度最後の第一分区の会長幹事会が新旧合同で開催されましたが、次年度は鈴木和夫ガバナー補佐のもと、情報伝達におけるIT化の流れを加速させるとのことです。その席上で私より、次年度会長幹事さんに2つの申し送り事項をお伝えしました。一つ目の課題として「エコキャップ」収集活動の件ですが、次年度も継続して頂きたいと思います。皆さんご承知の通り、推進協会が目的外の使い方をしていたことが明らかになり、民友新聞も一時受入れを見合わせるなどの騒動となりましたが、ガバナー事務所から経過の報告がまだありません。その後、収集方法を変更するなどして再開を致しておりますが、ロータリークラブがお願いした学校に対しては経過を説明して、是非とも継続頂くようお願いしたいと思っております。二つ目はネパール国への震災支援のお願いです。私たちは東日本大震災でネパール国を始め、全世界の方々から善意の支援を頂きました。この御恩を忘れることなく、世界で災害に遭って苦しんでいる人々に手を差し伸べようではありませんか。本来であれば地区で提唱して頂きたかったのですが、地区で一括300万円を送金したきりで、各分区、各クラブへの呼び掛けがありませんでした。ネパールの米山学友会が窓口になるようなので、各クラブ独自で結構ですから、支援の善意を集めて下さるようお願い申し上げます。一年間、皆さまのお蔭でガバナー補佐の職責を全うさせて頂きました。ありがとうございました。



優良ローターアクト認定書授与式

日時／6月17日(水)

場所／福島学院大学駅前キャンパス内
会議室にて



●会長あいさつ

丹治 正博 会長

私は、当ローターアクトクラブの提唱クラブ、福島ロータークラブ会長の丹治です。本日の優良ローターアクト認定書授与式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆さんご承知の通り、福島学院大学ローターアクトクラブは、今から29年前の、昭和61年(1986年)5月14日に前身の福島女子短期大学ローターアクトクラブとして創立されました。以来、ロータリーの五大奉仕部門の一つである青少年奉仕を实践するクラブとして、ロータリーのプログラムへの参加や社会奉仕活動を通じて、倫理や奉仕、親睦の理念について学び、将来、社会のリーダーとなるために必要なスキルを身につけるための努力を重ねてこられました。

また、三者合同新世代会議は、今や恒例の行事となりましたが、若者とロータリアンが直接話し合う機会を作ろうとの気運が高まり、今から19年前の平成8年(1996年)に、当時の白岩康夫会長と、河田亨社会奉仕委員長のお骨折りにより、2530地区における先進的事業として、福島ロータークラブ、当時の福島女子短大ローターアクトクラブ、東稜高等学校インターアクトクラブの三者が集い、「福島RC新世代会議」が誕生しました。以来、年2回の開催を原則として、協議テーマは三者代表がその都度決め、両校の学生・生徒代表が意見を発表し、運営も交替で行うという切磋琢磨の歴史を積み重ねて参りました。

福島ロータークラブでは、ローターアクトクラブとインターアクトクラブに所属し、地域の奉仕活動に真面目に取り組まれたメンバーに対し、卒業の際に優良ローターアクトとインターアクトの認定書と記念品を会長名で授与し、その功績を讃えて参りました。

近年、就職活動の時期が早まっていることもあり、皆さんの就職活動において、ローターアクトとしての優れた活動歴を履歴の一つとして活用して頂きたい、との思いを込めて、この度、四年卒業時のお別れパーティーで差し上げていた認定書を、繰り上げてこの時期に授与することとなりました。本日、目出度く認定書を受けられる9名の皆さんのご努力に対し、心から敬意を表するものです。この受賞を機に、今までの経験を糧として、更なるご精進を頂くとともに、今後とも、ロータリー活動への関わりをもたれる事をご期待申し上げ、福島ロータークラブを代表してお祝いの言葉と致します。本日は、まことにお目出度うございます。



◀左ページにも当日の写真を掲載しております。

ロータリーの豆知識

第4回

年次計画書・報告書の作成

ロータリークラブにおける年度始めの重要な仕事の一つに年次計画書・報告書の作成があり、ガバナー公式訪問までに完成させておく必要があります。例年、8月のお盆明けから月末にかけての完成・配布が目安になります。以下は2014-15年度の例。

体裁…A4版、132頁(※2014-15年度、表紙を除く)、表紙はコート紙、カラー

部数…115～120部(会員用87、県北第一分区用10、新会員用10、マスコミ懇談会用5など)

予算…年次計画書、会員名簿を合わせた作成予算として、例年75万円が目安。

内容…ロータリーの目的・四つのテスト/ロータリーのモットー・ロータリーの誕生とその成長・日本のロータリー/RI会長メッセージ/第2530地区ガバナーあいさつ/県北第一分区ガバナー補佐あいさつ/会長あいさつ/幹事あいさつ/第2530地区年度組織表/第2530地区年度資金予算

●クラブ現況

福島RCの概要・クラブバナー/福島RCの会員概要/福島RC組織図/福島RC役員・理事・委員会・地区役員・委員/福島学院大学ローターアクトクラブの概要/福島東稜高等学校インターアクトクラブの概要/会員名簿/充填及び未充填職業分類表

●年次計画書(今年度)

1.年間スケジュール/2.会場監督/3.委員会計画(各委員会)/4.一般会計収支予算書/5.特別会計収支予算書

●年次報告書(前年度)

1.一年を振り返って(直前会長・幹事)/2.会場監督/3.委員会報告(各委員会)/4.理事会議事録/5.例会記録/6.前年度福島RC財団寄付リスト・ロータリー財団寄付額/7.福島RC元会員(退会・転勤・移籍・物故者・家族)財団寄付状況/8.前年度福島RC米山記念奨学会特別寄付者名・米山奨学会寄付額/9.米山特別寄付者名(家族・退会・物故者)/10.会員の異動/11.一般会計収支決算書/12.特別会計収支決算書/13.財産目録

●HISTORY

1.認証状/2.福島RC歴代役員/3.福島RC輩出歴代ガバナー・分区代理・ガバナー補佐/4.福島RC輩出歴代地区役員・委員/5.福島RC系図

●資料

福島RC定款/福島RC細則/福島RC旅費規定/福島RC慶弔規定/ロータリーソング

タイムスケジュール

前年度の最終月(6月)より、次年度会長、幹事、会報委員長、事務局、印刷業者での打合せに入り、内容、ページ数、体裁を決めて見積りをとる。平行して、完成から逆算したタイムスケジュールを立て(校了から納品まで約1週間)、原稿依頼・入稿が確認出来るチェックシートを作成、原稿執筆の依頼を行う。原稿依頼者への督促は頻繁に行うこと。

(文責/丹治正博)

表彰伝達

- 第5回
米山功労者伝達
幡 研一 会員へ



- 第2回
米山功労者伝達
浦部 博 会員へ



- 第1回
米山功労者伝達
氏川 守義 会員へ



- ポールハリス
フェロー
ピン+2
渡辺 健寿 会員へ



幹事報告

例会変更のお知らせ

- 福島西RC、22日(月)の例会は新旧役員歓送迎夜間例会のため18:30エルティに変更しております。又29日(月)福島西RC、30日(火)福島北RCの例会は理事会承認休会となりますのでお知らせ致します。

その他のお知らせ

- 6月理事会議事録配布しておりますので、ご確認下さい。尚、新会員として一名推薦され承認されましたのでお知らせ致します。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

- RI第2530地区
県北第一分区 ガバナー補佐

久米 允彦 様
(福島西RC)



- RI第2530地区
県北第一分区 幹事

佐藤 慶行 様
(福島西RC)



例会プログラムのご案内

- 7月2日(木) 12:30~「辰巳屋」
・県北第一分区 会長・幹事来訪
・幡 研一 会長あいさつ
*誕生祝い *「四つのテスト唱和」
・7月理事会(懇親会あり) 18:00~「石林」
- 7月9日(木) 12:30~「辰巳屋」
鈴木和夫県北第一分区ガバナー補佐クラブ訪問
*プログラム案内 *「友」紹介 *血圧測定
- 7月16日(木) 12:30~「辰巳屋」
幡 研一 会長、箱岩 偉 幹事 スピーチ
- 7月23日(木) 18:30~「辰巳屋」
新旧役員慰労夜間例会
- 7月30日(木) 12:30~「辰巳屋」
クラブ協議会 *酒井ガバナー公式訪問前

私のひとこと

増子 勉 会員



「喫茶店」という文言は、今や死語に近いかもしれません。喫茶室「ルノアール」は、かつての喫茶店のイメージをいい感じで残して、東京に行くたびに寄ります。

過日、ルノアールでの出来事。店員さんが、珈琲に入れるミルクの小さな入れ物を、テーブルに落としたのです。で、どうなったかというと、私のスーッ上下にミルクの点々が、二十個ぐらい付いてしましました。二十歳前後と思われる、本当にかわいらしい女子店員さんは、はんべそ状態で、ひたすらあやまって、おしぼりをとりにいきました。スーッが乾く間、二人の上司も入れ替わりおわびにきました。

ところで、その子が何度もおわびにくるもので、つい「当社の「ミス・トラブルの三原則」の話を、」「がんばれ、若者!」みたいな想いで、励ましてしまいました。真剣に聞いてました。少しづつ、笑顔も戻ってきました。まったく、よけいな話してしまつたなあ、と思ひながら、その子が、きつく上司にしかれないことを願いつつ、店をあとにしたのでした。

ニコニコBOX報告

〈報告〉松浦 敬裕 委員

本日のニコニコBOX投入額 25件 ¥54,000 累計 ¥2,443,000

●茂田 士郎 会員
久米允彦ガバナー補佐には一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

●渡辺 健寿 会員
久米ガバナー補佐、佐藤分区分区幹事のご来訪を心より歓迎いたします。お二方には、一年間公務お疲れ様でした。

●今井 康 会員
七月四日から夏の競馬開催が始まります。今回は女性をターゲットにしたイベントも企画しておりますので、お誘い合わせの上ご来場をお待ちしております。

○他に／坪井大雄／幡 研一／加藤義朋／佐藤康太郎／安藤健次郎／今井理基夫／八巻恵一／田沼紀美子／児玉健夫／鶴丸直久／牧野吉晃／土屋敦雄／八子英器／松浦敬裕／内池浩／藤井高志／久保田吉朗／白岩康夫／有田吉弘

●久米 允彦 ガバナー補佐
最後の公式任務です。一年間お世話になりました。

●佐藤 慶行 分区分区幹事
本日の福島クラブ様訪問にて今年度ガバナー補佐クラブ訪問予定が全て終了となります。丹治会長様、坪井幹事様そして福島クラブ会員の皆様には温かく迎えて頂きましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。

●丹治 正博 会長
久米允彦ガバナー補佐のクラブ訪問を歓迎致します。本年度当クラブ訪問は四回目、そして本日は、県北第一分区では年度最終訪問クラブとのことでございます。事にあたっては是非々々明解な取りさばきをされた久米G補佐に対し、会員一同を代表し、心より敬意と感謝を申し上げます。一年間本当にお疲れ様でした。

パンダハウス募金ご報告 (森川英治社会奉仕委員長)

6月18日 5,853円

累計 250,225円